



# THE FINDHORN FOUNDATION

## フィンドホーンツアー 2010

by 女神山ライフセンター

日程: 2010年6月24日(木) 出発～7月5日(月) 帰国

内容: フィンドホーン体験週間(6/26日～7/2日)

定員: 15～20名/通訳: 渡邊雅子

費用: 18万円(現地の価格変動により、多少の変更の可能性あります。)

(別途: 航空運賃17万円位。レター翻訳料 2000円)

その他内容: フィンドホーンフラワーエッセンス、オイルマッサージなど

◇ コーディネーター: 大森経子/アーティスト、料理家、女神山ライフセンター共催



Cluny Hill College



■ 連絡先: 女神山ライフセンター / 大森 仁

TEL.0268-38-0777 〒386-1437 長野県上田市大字野倉84-2

Fax. 0268-38-6099 E-mail: megamiyama21@yahoo.co.jp

\* 女神山 HP - <http://www.megamiyama.jp/index.html>

♥ フィンドホーンは奇跡の精霊の園ともいわれ深い森と入り江に包まれたとても美しい場所です。世界中から集う魅力的な人々と奇跡の出会いが生まれます。好奇心と無邪気さを持って、愛の精霊探しの冒険に旅立ちませんか！今の現実が私たちの心の反映であるなら、私たちが天使の存在を知り少しでも癒され、幸せになれば世界はすぐに平和になると思います。このツアーで見えない美しい現実にくれ、真実の「私」のすばらしさに出会い、聖なる光や愛の道を見つける出発点になれば幸いです。 ♥

◇ フォーカライザー(世話役): ジュディス・ボーン

ジュディスはとても素晴らしく、軽やかで、明晰、お話しも学びあいも楽しく心地よくなる方です。彼女は毎朝精霊や神様に「今日の一日をあなたにあずけます」と祈るそうです。また「フィンドホーンでは互いの神聖さを学んでいる」とも言っておられました。

\* フィンドホーン財団の主要メンバーの一人でセクレッドダンスの指導者。知性あふれ、やさしく暖かい人柄は多くの人に愛されている。 フィンドホーン在住23年。



☆ 通訳: 渡邊雅子 - 翻訳家、ライター。米国の高校と大学を卒業後、パリと南仏ニースの大学でフランス語習得。幅広い分野で会議通訳者として活躍する一方、フィンドホーンツアーやスピリチュアル・ニューエイジの分野でも通訳として活躍している。

◇ お勧めします。女神山ライフセンター / 大森 仁(セラピスト)

フィンドホーンへは5回導かれる様に訪ね、2回の不思議な体験をしました。ぼくのスピリチュアルな旅の重要な位置を占めています。そして真実の世界への入門から光の世界の体験まで幅広い体験の可能性を秘めています。僕は12年前病に倒れ、余命1週間の頃、使者の膨大な光の治療により救われました。その後天使の声が聞こえ、僕の人生は一変しました。セミナーでのメッセージが人を幸せにみちびくようになりました。今は奇跡があることが自然なのではないかと思っています。

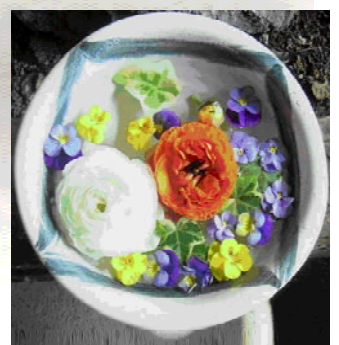
◇ 2002年6月 体験週間に参加して 毎日、充実していて日常を忘れ自分と向き合うことが出来ました。たまに立ち止まって見渡すこと大事だなんて、つくづく思いました。アイリーンに質問して心のこもった答えをくれたこと。そして彼女の直筆のサインを見たとき本当に感動しました。とても愛のこもった空間と時間を皆で共有できてうれしいです。まさしく「BIRTH 誕生」新しいことに恐れずにチャレンジするPowerをGetしました。自分を信頼すること、その声に従えばイイんだっ♪そしたら何もかもうま くいはず！そんな気がします。あと、レヴ・セラさんのマッサージ、超、愛を感じたのだ！！

### Experiencing Spiritual Community

☆ フィンドホーン関係の本

「フィンドホーンへのいざない」	寺山心一翁著	サンマーク出版
「フィンドホーンの魔法」	ポール・ホーケン著	* 日本教文社
「フィンドホーンの花」	アイリーン・キャディー著	* 〃
「フィンドホーン愛の言葉」	〃	* 〃
「心の扉を開く」	〃	* 〃
「神は私にこう語った」	〃 川瀬勝訳	サンマーク出版
「大地の天使たち」	ドロシー・マクリーン著	* 日本教文社
「天使の歌が聞こえる」	〃	* 〃

\* 山川紘矢・亜希子訳



ドロシー・マクリーン